



漁業者名	大祐漁業株式会社
漁業種類	大中型まき網漁業
計画期間	平成31年4月～令和6年3月
計画の類型	一般型

計画作成の背景・課題

「安全安心な職場環境の提供なくして企業の存続はない」との理念のもと、老朽化した網船（2隻）を更新することにより、収益性を高め、減価償却前利益を確保し、財務基盤の強化・安定を図ることとした。



計画期間中に建造した新船（1隻目）

計画における取組内容

- ・ 代船建造により、網船を大型化することによる安全性向上と労働・居住環境改善（1隻目：135t→199t、2隻目80t→150t）
- ・ 網船の大型化により、灯船の機能を網船に集約することによる生産コスト改善（1船団：5隻→4隻（灯船1隻減））
- ・ 修繕費や燃油費等を圧縮することで減価償却前利益を確保
- ・ 船舶の運航に欠かせない従業員の安定的確保のため、給与等の改善を通じた労働配分率の向上



計画期間中に建造した新船（2隻目）

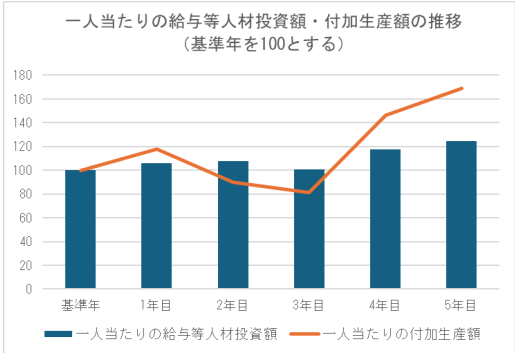


拡大された居住スペース

計画による効果

計画の各取組を実施することにより、人員確保・給与向上を実現しながら、経営向上の指標である「従業員一人当たりの付加生産額」は計画目標（+28.0%以上）を達成

従業員数増加	一人当たりの給与等人材投資額	一人当たりの付加生産額
4人増	+24.3%	+69.2% 計画目標を達成



今後の展望

令和8年度から漁業経営改善制度を利用し、老朽化した運搬船2隻を労働・居住環境改善を目的に大型化（320t→455t）した同一仕様船型にて代船建造を行い、更なる財務基盤の強化・安定を図る。

